

平成30年度第2回伊賀市スポーツ推進審議会会議録

日時：平成30年6月29日（金）午後1時30分～

場所：上野ふれあいプラザ2階 第4会議室

出席者：松寄敏之（会長）、宮田久一（副会長）、坂口委員、稲濱委員、宮田（慎）委員、
谷川委員、福寿委員、山本委員、今中委員、高橋委員
宮崎企画振興部長、東企画振興部次長、福谷スポーツ振興課長、山主幹、出山

事項1 あいさつ

2 確認事項

配布資料について

- 公共施設最適化計画
- 施設評価シート
- 近隣自治体の体育施設状況等

3 議事（資料1）

（1）体育施設アンケートの実施について

4 その他

1 あいさつ

- ・スポーツ振興課長司会進行
- ・宮崎部長あいさつ
- ・出席委員数の確認を行い会議の成立を報告
- ・東次長あいさつ
- ・会長に議事進行をお願いする

2 確認事項

配布資料について確認。補足説明。

3 議事

（1）体育施設アンケートの実施について（資料1）

——事務局から、資料1「体育施設アンケート実施について」説明

〈質問・意見〉

（委員）調査対象が2,222人ということだが、比率は男女で半分ずつということですか。

（事務局）今の伊賀市の人口の男女比です。6対4であれば、その比率です。人口比割も、それぞれの地域の人口比率で抽出されます。

(委員) 年齢はどんな割合ですか。

(事務局) 年齢についても、何十歳代が何割という比率ですので、ある年齢層が多ければ、その年齢層のアンケートの対象が多くなります。

(会長) 性別や年齢や地域が偏るということはないということですね。現状の人数に比例して抽出していくということですね。

(事務局) その通りです。

(会長) 2, 222人というは何%くらいですか。地域や年齢でそれぞれパーセンテージが違って、トータルしたら2, 222人ということでしょうか。

(事務局) 総合政策課がしているまちづくりアンケートが同様の方法で調査をしているので、それを参考にしました。

(委員) 回答は何パーセントあれば有効なのでしょう。

(事務局) 郵送法の場合は、アンケートの内容にもよりますが、大体38～40%の回答率です。まちづくりアンケートでは40%くらいの回答でした。

(委員) もっとたくさん出してはどうか。

(事務局) 人口に対してどれくらいのサンプルがあれば良いかというデータがありまして、人口10万人であれば、2%の人に送り、返信が4割としたら約1%になります。人口全体の1%のデータがあれば、アンケートとしては成立するという分析結果があります。アンケートを行っているコンサルなどではこのような根拠に基づいて行なっています。

(会長) 多ければ多いほど良いと思いますが、統計上そのようなデータがあり、人数を増やしても同じような結果になるのであれば、この人数で正確な調査ができるということですね。郵送で送って郵送で返してもらうんですね。

(事務局) そうです。

(会長) 調査方法について、他に質問ありませんか。なければアンケート内容について検討していきたいと思います。

(事務局) アンケート内容について、説明させていただきます。

——事務局から、アンケート内容「1あなたについてお尋ねします(問1～3)」について読み上げ。

〈質問・意見〉

(会長) 例えば、問1～3までありますが、この中でどこかに未記入があったら、それは無効になるのでしょうか。

(事務局) そうではありません。ただし、クロス分析ができなくなります。例えば、18～29歳までの人はどんなスポーツをしているかという分析するとき、年齢や性別のデータが必要になりますが、それができなくなるため集計からはじかれますが、単

純な回答としての数には含めることができます。もし性別が未記入であれば、男女の傾向はどうであるかというクロス分析には含まれないことになります。

(会 長) それでは、次の質問にいきたいと思います。

——事務局から、アンケート内容「2 あなたの日常のスポーツ活動の状況についてお尋ねします(問4～9)」について読み上げ。

〈質問・意見〉

(委 員) 問4の選択肢の「ほとんど毎日(週3～4日以上)」というのは正しい表記なのでしょうか。

(事務局) 選択肢の表記については、県のアンケートと同じ表現にしてあるので、正しいものと思います。

(委 員) 3日～4日以上だったら、3日以上で良いのでは。

(事務局) 今週は3日で、先週は4日という場合などを想定しています。

(委 員) 運動というのは、ラジオ体操なども含まれるのでしょうか。毎朝職場などでしている人もいると思いますが、それも含まれるということですね。

(事務局) 問4の選択肢に、「毎日」というのを追加して2番目に「ほとんど毎日」としても良いかもしれませんね。

(会 長) 「毎日」を入れてしまうと、厳密に言うと、正月も盆も365日となってくるので入れないほうが良いのでは。毎日している人もほとんど毎日と言う選択肢で良いと思います。

(会 長) 問5の「1日1回あたりの」というのはどういうことか。午前と午後に行っている場合などはどうなるのか。

(委 員) 解釈しにくいですね。

(委 員) 朝昼晩に30分ずつ、1日1時間半しても、1回あたりは30分ということになりますよね。

(委 員) 1回あたりで良いのでは。

(委 員) 何が知りたいかによって変わってきますね。

(委 員) 長時間やるのか短時間やるのかを知りたいのか。

(委 員) 午前中にテニスして午後にプール行ったら、1回あたりという質問ではどちらかしか選べませんね。

(事務局) この質問は、施設を使う時の時間区分のデータを取って、施設予約の利用時間区分とクロス分析するためのものと思われる。

(会 長) 1日あたりの多い時間帯を書いてくださいということですか。

(委 員) ということは、その人の1日あたりの運動時間ではないということですね。

(会 長) 1回という表記を外しても良いですね。

(事務局) そうですね。次の質問で種目を聞いているので、バレーボールと回答した人が、

なかなか朝昼晩とするとは考えにくいですからね。

(会 長) では、「1回」を抜いて「1日あたり」ということでよろしいでしょうか。

(一 同) はい。

(会 長) 他はどうでしょうか。

(会 長) 屋内でゲートボールする施設がありますよね。多目的広場。あれはどこになるのですか。

(事務局) 4の「しらさぎ運動公園多目的グラウンド」ですね。ゲートボールがメインですが、多目的グラウンドという名称なのでこちらに入れさせていただきました。

(会 長) ターゲット・バードゴルフもコースを作っておりますよね。

(事務局) そこは都市公園内施設ということで、41に該当します。

(会 長) 都市公園内施設というと他に何が該当しますか。

(事務局) 上野運動公園のランニングをするところとかですね。

(会 長) 回答してもらう人に分かりますかね。

(事務局) 例を書いておいた方がよいですかね。

(会 長) そこまで書くのであれば、これを消して、具体的に施設名を書いてはどうですか。その方が分かりやすいと思います。

(事務局) しらさぎ運動公園ターゲット・バードゴルフ施設というようにですか。

(会 長) その方が、書いてもらう人には分かりやすいと思います。もっと増やしてくれますか。

(事務局) 分かりました。

(会 長) しらさぎ運動公園の外の芝生のある多目的広場や東公園でターゲット・バードゴルフをされている人もいます。その他施設をカッコ書きにして、回答者に具体的に書いてもらってはどうか。

(事務局) 県営の施設も入っていませんね。ゆめドームの施設は県営ですので公共施設になりますね。

(委 員) クレー射撃場も県営なので入れなくてはいけませんね。

(会 長) 上野運動公園プールは、今年は開設しませんが入れておきますか。過去に1回でも利用したら丸をつけるのか、過去1年程度に期するのか、期間を決めておかなくても良いですか。8月にする調査なので、平成29年4月以降にするとか。最近の傾向を見るのなら、ちょっと期間を絞った方が良いかなと思います。

(委 員) その他の施設であげている他に、まだあるかもしれませんね。他にあれば書いてくださいとしておいたらいいですね。こちらでも気づいていない場所を使っているかもしれません。

(会 長) これは有料の施設ばかりですか。

(事務局) 都市公園は無料です。東公園のターゲット・バードゴルフ場とか、ランニングする場所とか、上野運動公園の芝生で練習しても無料です。

(会 長) 基本的に、都市公園施設以外は有料ですね。
(事務局) 市の体育施設条例に載っているものは有料です。
(会 長) それ以外に、都市公園も含めて、他にスポーツしている場所がないか聞くために、その他の中にその他の項があってもいいと思います。
(委 員) 地元で利用している広場もありますね。
(会 長) 公民館の広場を使ったりしているところもあります。だから、その他の項を作っておいてもらえれば回答を見て判断できますよね。ゲートボール場や地域の広場は使用頻度が高いので、割合高齢者の方はいろんなところを使っていますね。
他に同でしょうか。ないようであれば、次の説明をお願いします。

——事務局から、アンケート内容「3伊賀市における公共体育施設（学校体育施設は除く）の再編のあり方についてお尋ねします（問10～15）」について読み上げ。

〈質問・意見〉

(会 長) この項についていかがでしょうか。
(委 員) 問14は、いくつ選べますか。1つとは限らないかなと思います。
(事務局) 3つくらいにしましょうか。
(会 長) どちらかと言えば、あるだけ書いてもらった方が良いのですが、3つに絞る理由が何か、ということになります。全部という人がいたとすると、なんで3つなのかと思われると思うんですが。
(事務局) 全てを維持していくことは難しい中で、個人的に優先順位をつけてもらいたい。
(会 長) いくつかに絞った方が良いですか。
(委 員) 回答する側としては3つくらいがいいかなと思います。
(事務局) 1つだと選びにくいですかね。
(委 員) 伊賀市の将来のために、と書いてありますしね。
(会 長) 一人の人がそんなにいくつも利用してないと思うので、3つくらいにしますか。
(事務局) 1つの人もいると思うので、3つ以内にしましょうか。
(会 長) 考えようによっては、伊賀市の将来のために、と書いてあるので、自分が使う使わないに限らず、伊賀市の将来のために残した方が良くないと考えてくれますかね。3つくらいで統計をとって見ましょうか。
(委 員) 施設利用料のことは聞かないんですか。
(事務局) 高い方が良いか安い方が良いか聞いても、安い方が良いに決まっていますからね。来年消費税が上がるかもしれませんので、ちょうど改定する時期かなと思ってはいけません。
上げるだけではダメなのでサービスの向上のために、それを機会にネット予約できるようにするとかしないといけませんね。

(委員) もし料金について加えるのであれば、高いか安い、高く(安く)した方がよい理由なども書いてもらってはどうか。

(事務局) 今、全体のスポーツ施設1回あたり、平均千円くらいとっておりますが、一人あたりの利用料は、実は3千円くらいかかっているんですよと書いておいて、こんな状況ですが、利用料高く(安く)した方がよいですかと。質問だけだと分からないと思うので、現状と、実際に施設の維持管理にかかっているお金の状況と、利用者が負担している金額の状況が分かりにくいので、その金額を出した上で、使用料についてどう思いますかと聞いた方がよいですね。

(委員) やっぱりデータを教えてくれないと分かりませんからね。

(事務局) 設問を作るのであれば、そういうデータを示した上で聞きたいですね。

評価シートには、財務状況とか面積あたりのコストとか調べてあると思うんですが、それを示した上で、もっと利用料をあげるべきかどうかという聞き方はできると思います。

(会長) 使う方から言うと、高いか適性が安いだけでいいと思います。高いという意見が出てきたら、市がもっとお金を出さなくてはならないと思っているんだなと理解するだけではだめなのでしょうか。

(事務局) 良いのですが、このアンケートはスポーツしない人にもいくので、その人たちがスポーツ施設をどう捉えているのか、答えにくいかなと思ったりもします。

(会長) アンケート結果はどの程度公表しますか。アンケートをとったときに、高いという人が7、8割いるのに、料金を上げるという話はできにくくなってきますよね。

(事務局) 料金については、行財政改革課が他の行政料金も含めて、現在、消費税が来年少がる予定ですので、それに合わせた使用料の見直しの準備を進めております。

(会長) 例えば、答えられるか分かりませんが、質問の中に、「他市の利用料と比べて」と一言加えるというのはどうですか。

(事務局) 利用している人は分かると思うんですが。

(会長) 他市の利用料まで知ってる人はそんなにいないと思うんですが。

(委員) 「分からない」という項目も作っておけば良いのでは。

(会長) あんまりアンケートをとりたくない部分でもあるわけですね。

(事務局) 消費税が上がるので、全体的に使用料の見直しを別の部署で検討していますからね。

(委員) アンケート結果で高いと出たら上げにくいですがもんね。参考にする程度で、アンケートに基づいて、いくらにするとは決められませんからね。高いと思っている人が多いと思いますが、たくさんの方が一つの競技場を借りたら、一人当たりの料金は安くなりますよね。それも知らない人が多いでしょうね。料金についての質問はやめておきましょうか。

(委員) 難しいですね。

(委員) 使う側としては聞いてもらったらありがたいですけどね。施設によって違いますからね。

(委員) いくらかかるのか、というのは聞かせて欲しい。実質いくらかかっているが、これだけの使用料でやっているということは知りたいです。行政の方も、コストを下げる努力はして欲しい。自分もいろいろ利用している中で、あの職員は何をしているのかと思う人もいます。利用者が減るから赤字になるというだけではなしに、管理面の費用も減らす努力をしてもらわなければ、みんな市民負担になってくると思います。

(事務局) 施設評価シートの中に、一部、財務情報で分析しているものもあるんですが、少し分かりにくいですね。

(委員) 公共施設なので儲けることはしないじゃないですか。市民のスポーツ振興のための施設なので、高いとか安いとか言えないが、この施設にはどの程度の維持管理費がかかっているというのは、アンケートでなくても、何かの機会でも知らせてあげた方が良いと思う。みんなどの程度かかっているのか分からないので。

(事務局) 公共施設白書というものを作ってあって、そこに維持管理費も載っています。また、皆さんにお示しさせていただきます。

(委員) 運動公園なんかは芝刈りにお金がかかっていると思うが、そんなにかかっている施設もありますよね。市民に知らせて、ただ単に利用料を取っているわけではないと知らせてあげた方が良い。

(事務局) 公表しておりますので次回にでも委員の皆さんに資料をお渡しします。

(会長) 使わなくても、施設管理維持費はかかりますよね。それを全部使用料で賄うというのは無理ですよね。公共施設ですからね、儲かるのであれば民間がするでしょうし。

(事務局) なぜ公共でやっているかという、そういうことですね。

(会長) 住民サービスの一環としてやっているものですから、ある程度の負担はしてもらいましょうという考え方ですよ。

(事務局) その負担割合が適正なのかというところですね。

(委員) 結局スポーツしている人は高いなと思っても、していない人は、もうちょっとこればいいのにと意見になるかもしれませんね。

(会長) 他にご意見ございませんか。全体通して何かありませんか。

(事務局) 難しかったのは、問15なんですけど、今後使いやすくするためには、どんなことを尋ねたら良いだろうと、事務局でもなかなか思いつかなかったんですが。もっと皆さんが望んでいるような、施設の整備だけではなくて、どういうサービスをしたら体育施設が使いやすくなったりするのかなあと。

(委員) インターネットの予約などは良いと思います。今は1回ずつ予約しに行かなければいけませんからね。

(委員) いつからいつまでと公開してもらって、そこで予約できたら良いと思います。

(事務局) ネット予約のシステムについては、見積もりを取ってみようと思っています。

(事務局) 現実的に年配の方とかは、実際にそれで予約できるのかという不安もあります。

ネット予約だけでもできないし、実際のお金の受け渡しもありますので、経費の縮減には繋がらないのかなという思いもあります。人件費の削減につながるのであれば、システムの導入にお金がかかっても、将来的にはコストが縮減できたと言えるんですけどね。ちょっと難しいところです。

(会 長) この質問については、その他の自由記載で結構出てくるかもしれませんね。他にご意見ございますか。

それでは、この内容でアンケート調査していただくということでしょうか。

では、次の「4その他」に行きたいと思います。

(事務局) 今後の進め方ですが、アンケートを8月にとって集計し、再編を検討するにあたって、種目協会への意見徴収をしたいと思っています。それを経て、具体的な再編の資料を出ささせていただいて、進めていきたいと考えています。

次回なんですが、今の委員さんは、8月31日で任期が終了しまして、また各団体から選出いただいて、9月1日から新しい審議会が始まります。9月以降にアンケート結果を踏まえて進めていくことになると思います。

(会 長) 皆さん方から何かございますか。

(事務局) 団体から引き続き出ていただく形で、もし代わられる場合は、後任の方に引き継いでいただきたく思います。

(委 員) この評価シートというのは誰が評価したんですか。

(事務局) 最適化計画の1ページを見ていただきたいんですが、公共施設最適化計画は、施設にかかる維持管理費や年間の利用者数などを細かく分析した公共施設白書があって、最適化方針があって、最適化計画があります。方針や計画の中にある品質情報や財務情報、供給情報などを一定の基準に基づいて評価をしまして、コンサルに委託して、公共施設白書から出てきてる客観的なデータを元に、これらを分析してあります。評価をするのはなかなか難しいですね。品質情報というのは、老朽化の進み具合や耐震力の有無や施設自身が持っている情報です。財務情報というのは、1平方メートルあたりにかかる経費が示されています。供給情報というのは、同じような施設と比べて利用者数が多いか少ないかが書かれています。

財務・供給評価を縦軸にとり、品質評価を下軸にとって、この施設はどの位置に当てはまるかというのを見たのが2次評価です。このような分析の結果から、継続・複合化・縮小という結果に割り振っています。

(委 員) 後は、市民の皆さんの理解を得るだけですな。

(事務局) 白書から体育施設を抜き出したものを提示させていただきます。

(会 長) 他にございませんか。

(委 員) 先ほど消費税が上がるという理由で料金についての質問は省いたということで

したが、事前に送っていただいた資料には料金についての質問がありました。

(事務局) 会議までに検討した結果、省くことになりました。

(会 長) 他にございませんか。

(委 員) 施設の一部縮小とはどういうことですか。

(事務局) 縮小の中にも、移転・譲渡・用途転用というのがあるんですが、施設によっては複合化というのもあります。継続・複合化・縮小と大きく分けてありますが、具体的には、まだこれから検討が必要です。1期から3期まで、それぞれ5年ずつ、15年の計画になってまして、ただいま1期計画の途中です。

(委 員) 体育館が縮小となっているが、どのように縮小するんですか。

(事務局) 最適化計画での縮小というのは廃止も含まれます。

(委 員) 今は、合併してたくさん施設が余ってきているというのは事実ですが、将来の夢としての方向も考えてほしい。色々な県へ行ったら、一つの場所にテニスコートが20面30面あって、サッカー場・野球場・ゲートボール場があるところがあります。そういう複合施設というか集中した施設がこの頃はあちこちにあります。伊賀市についても、現状は駐車場がないというのが一番致命的な部分です。例えば、ひとつの大きな施設を作るとか、そういう夢は欲しいと思います。市でそういうことをやっているところもあります。寂しい話ばかりではなく、最適化計画をなし得た後は、何年先になるかわかりませんが、そういったビジョンに向かっていける夢もほしいなと思います。

(事務局) それを計画の中に入れてもらいたいと思います。次世代や今生まれた子どもたちがスポーツをするようになった時、伊賀市はどういう施設状況になっているのがいいのだろう、将来を担う子どもたちが見たときの体育施設のあり用はどのような方向なのだろうというビジョンを入れてもらったら良いと思います。

(会 長) 簡単にいうと、例えば点在してるテニスコートを1カ所に集めて、10面とか15面にしましょう、という話だといいますが、廃止しましょうというばかりでは次がないんですね。現状の施設を使うだけで、利用者の少ないところは廃止しましょうということなので、残すところには、さらに施設を充実するとかの方向にしてほしいと思います。

(事務局) 点在しているテニスコートを全部足したら25面あるけど、そんなにいらなから18面は集中して作ったら、大会もできるし、1カ所になれば、そこへ行ったら良い、というところができたらいいですね。

(会 長) 駐車場も完備してですね。なかなか難しい話ですが。

他にどうですか。ないようですね。

(事務局) それでは、今回はこれで終了させていただきます。ありがとうございました。